











室内用手すりコーナー支柱(アジャスト付)スチール製 BDE-36

取扱・施工説明書

この度は当製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
 ☆安全にご使用頂くために施工の際によくお読み頂き、以下の事を必ずお守りください。
 ☆この取扱説明書は大切に保管してください。

梱包部品明細

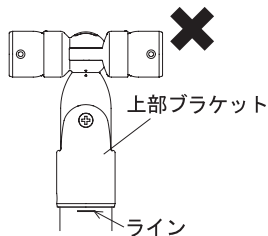
	室内用手すりコーナー支柱 1本 スチール製(アジャスト付)		部品袋①		
	同梱部品は2袋に分かれています。		 ねじ隠しキャップ	1個	
		 φ32用スペーサー (コーナー・エンド用)	2個		
		部品袋②			
	ソケット取付けねじ (⊕なべタッピンねじ 6×40)	6本		支柱上部固定ねじ (六角穴付き止めねじ M6×5)	1本
	ソケット取付けアンカー (オールアンカーCタイプ M10×60)	3本		手すり取付けねじ (⊕丸皿タッピンねじ 1種 3.5×16)	4本
	アンカー用座金ナット (セレート付フランジナット M10用)	3個		六角棒スパナ(呼び5)	1本
				六角棒スパナ(呼び3)	1本

取扱上の注意

- 長年使用しているとボルトやねじ類がゆるむことがあるので、定期的にゆるみを確認し、締め直す。

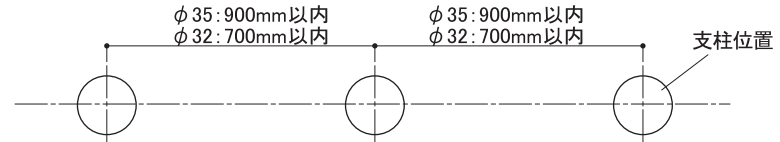
施工上の注意

- 当製品は室内用。屋外では使用しない。
- φ35、φ32手すり兼用。
φ32手すりを使用する場合は、φ32用スペーサーを使用する。
- 支柱取付けピッチは φ35手すりの場合、900mm以内
φ32手すりの場合、700mm以内で取付ける。
- 端部の持出しの長さは φ35手すりの場合、150mm以内
φ32手すりの場合、140mm以内とする。
- 支柱を取付ける下地の確認を必ず行う。
木製下地の場合、厚さ40mm以上
コンクリート下地の場合、厚さ100mm以上
- 高さ調整をしない場合も、支柱上部固定ねじで支柱上部を必ず止める。
- 支柱を高くする場合、調整可能寸法は20mm。
支柱に高さ調整の限界を示すライン(対面2か所)が入っている。
支柱上部の固定ができなくなるので、上部ブラケットの下端がラインを超える調整はしない。
- 支柱をカットして低くすることはできない。



施工手順

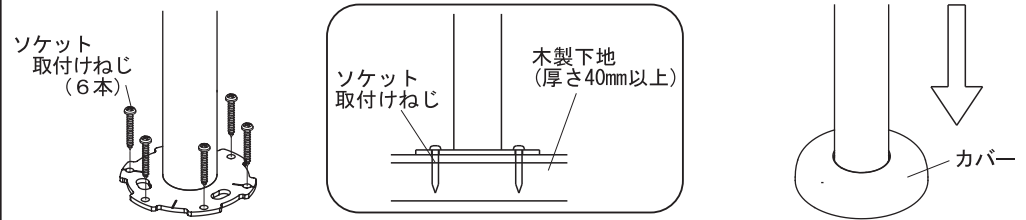
1. 支柱位置を決める。



2. 支柱を取付ける。

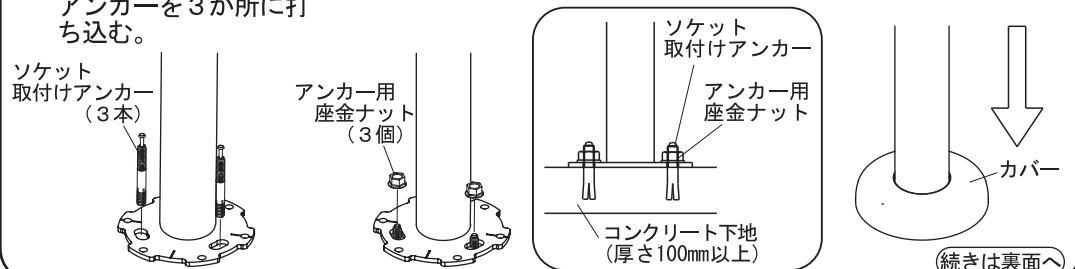
【木製下地の場合】

- ①カバーをはずす。
- ②取付け穴の位置に墨だしをする。
- ③φ4.8mm 深さ40mmの下穴をあける。
- ④付属のソケット取付けねじで6か所を固定する。
- ⑤カバーをかぶせる。



【コンクリート下地の場合】

- ①カバーをはずす。
- ②取付け穴の位置に墨だしをする。
- ③φ10.5mm 深さ45mmの下穴をあける。
- ④付属のソケット取付けアンカーを3か所に打ち込む。
- ⑤アンカー用座金ナットで締付ける。
- ⑥カバーをかぶせる。



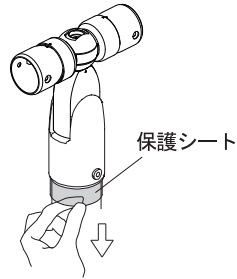
続きは裏面へ

施工手順

3. 高さ調整をする。

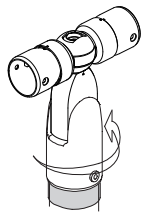
【高さ調整をしない場合】

- ①保護シートを引っぱり、抜き取る。



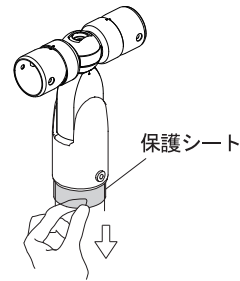
【高さを調整(高く)する場合】

- ①支柱上部を左へ回転し、高さを決める。

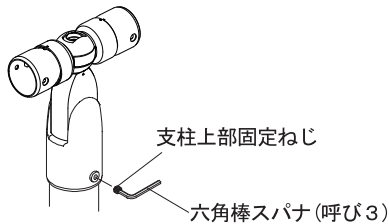


※調整可能寸法は20mmで、
1回転させると1mm高くなる。
※支柱に高さ調整の限界を示すライン
(対面2か所)が入っている。
支柱上部の固定ができなくなるので、
上部ブラケットの下端がラインを超
える調整はしない。

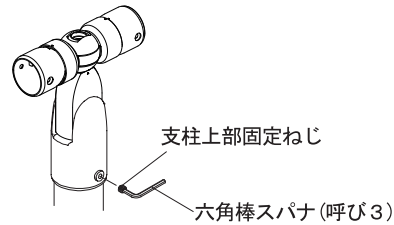
- ②保護シートを引っぱり、抜き取る。



- ③付属の六角棒スパナ(呼び3)を使用し、
付属の支柱上部固定ねじで1か所を固
定する。



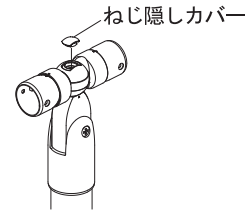
- ②付属の六角棒スパナ(呼び3)を使用し、
付属の支柱上部固定ねじで1か所を固
定する。



4. 水平方向の角度調整をする。

【水平方向の角度調整をしない場合】

- ①ねじ隠しカバーをはめる。

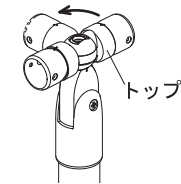


【水平方向の角度調整をする場合】

- ①六角穴付きボルトを付属の六角棒
スパナ(呼び5)でゆるめる。

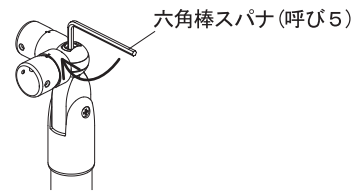


- ②トップを回転させ、角度を調整する。

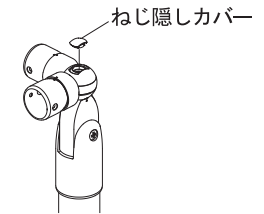


※角度調整の際は、必ず六角穴付き
ボルトをゆるめてから、トップを
回転させる。

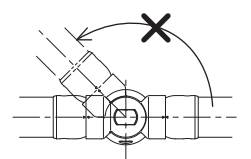
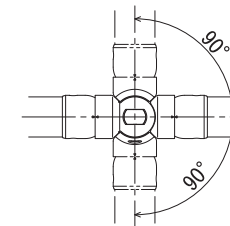
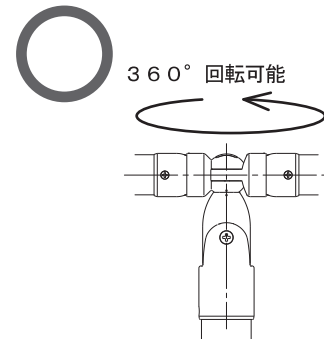
- ③六角穴付きボルトを付属の六角棒
スパナ(呼び5)で締付ける。



- ④ねじ隠しカバーをはめる。



— 水平方向の角度調整について —



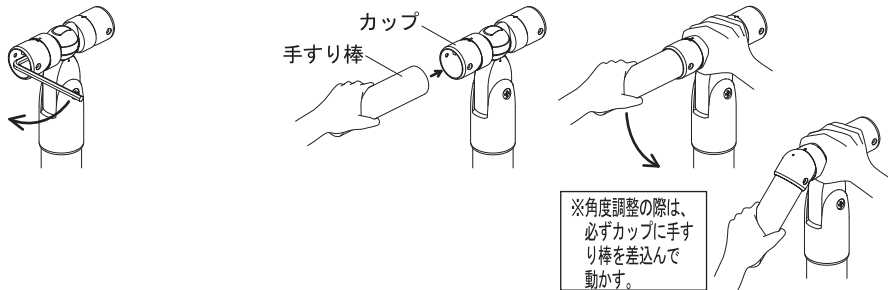
施工手順

5. 上下方向の角度調整をする。 【上下方向の調整をしない場合】

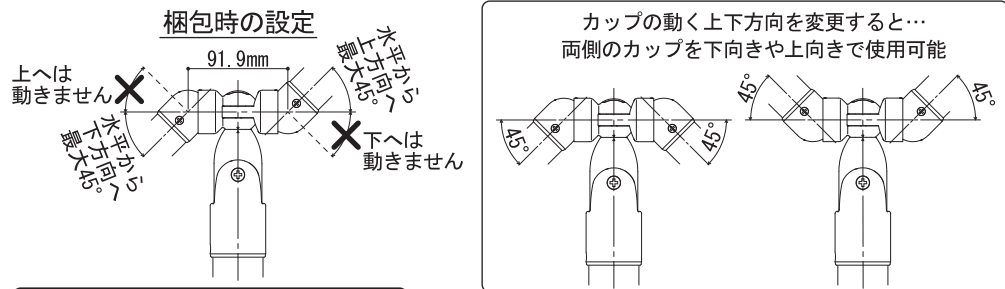
手順6.へ

【上下方向の調整をする場合】

- ①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。
- ②手すり棒をカップに差込む。
- ③差込んだ手すり棒を動かし、角度を調整する。

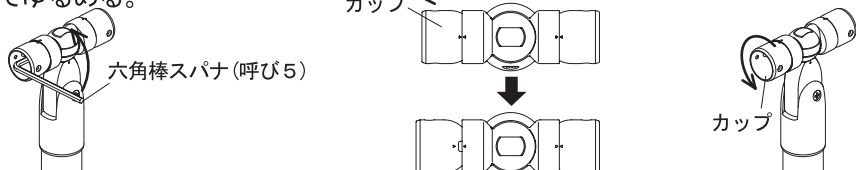


- 上下方向の角度調整について -

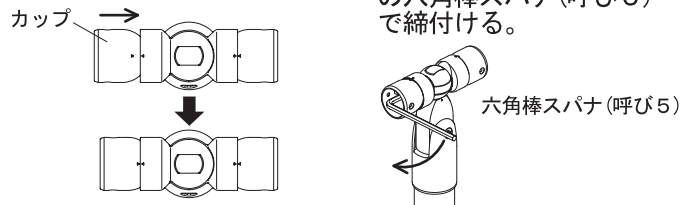


カップの動く上下方向の変更手順

- ①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)でゆるめる。
- ②カップが回転できる位置まで抜く。
- ③カップを180°回転させる。

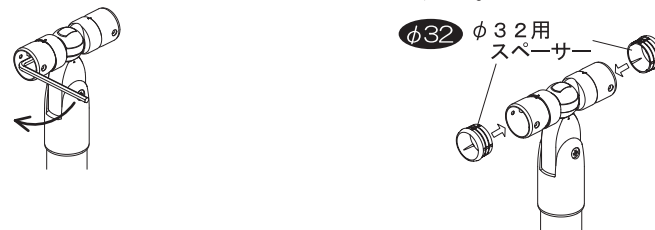


- ④カップを差込む。
- ⑤六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。

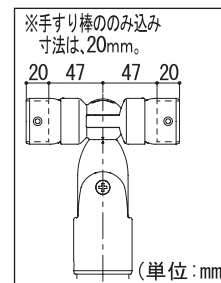
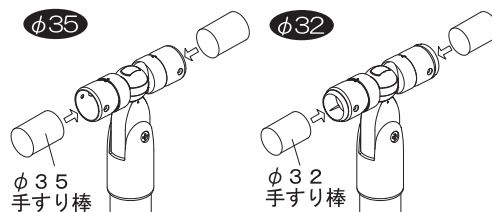


6. 手すり棒を取付ける。

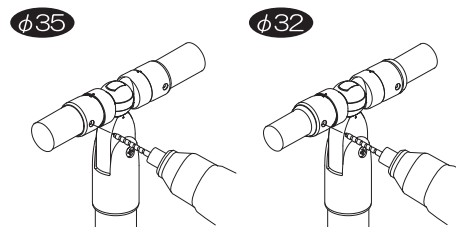
- ①六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締付ける。
- ②φ32の手すり棒を使用する場合は、付属のφ32用スペーサーをカップに差込む。



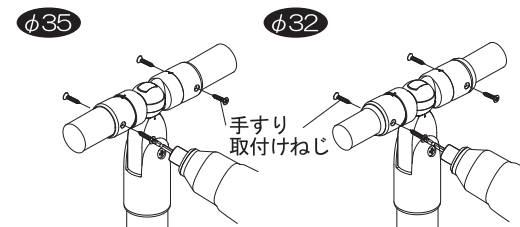
③手すり棒をカップに差込む。



④φ2.8mmの下穴をあける。



⑤付属の手すり取付けねじで2か所固定する。



参考

支柱を3本以上使用する場合の通り出し、レベル出しをする場合

【手順】

1. 施工手順の『2. 支柱を取付ける』の際に、床面への固定を仮固定とする。
2. 基準とする位置(通り・レベル)を決め、両端の支柱間に糸を張る。
3. 中間の支柱の位置(通り)を張った糸に合わせる。
4. 支柱を完全に固定する。
5. 高さ調整をし、中間の支柱の位置(レベル)を張った糸に合わせる。

